

【新協三目標】

1. 国民の住まいづくりに奉仕する
2. 中小建設業者との協力共同で経営を発展させる
3. 建設にたずさわる人々の生活向上をめざす

よい建物！よいアフター！

住まいの友 おおさか

http://www.shinkyo-ken.co.jp

大阪支店 osaka@shinkyo-ken.co.jp

新協建設工業(株)

大阪支店・堺営業所

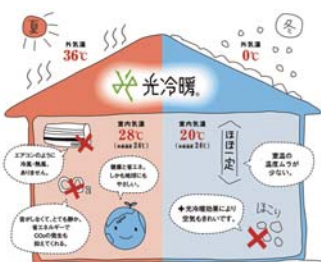
堺市堺区寺地町東4-2-11

TEL 072-229-2873

FAX 072-229-2874

暑い夏も光冷暖で快適に

新年度になり気温も落ち着いてきています。事務所の光冷暖もストップできる気候になってきました。この冬の間に多くの方々に体感していただきましたが、今度は暑い夏に風の出ていない涼しい環境に出会ってください。6月末か7月に入ってから体感を開始しますのでよろしくお祈りします。



写真①

河内長野のN様宅で補助金を使って耐震改修をおこないました。耐震設計10万円、耐震改修90万円の上限までの補助を活用しての耐震改修でした。土葺きの平屋でしたが周辺部には布基礎がきちんと施工されていました。しかし、内部の間仕切り壁

の下は一部束になっており耐震壁に対応するために、新たな布基礎を全体として10m余り施工しました。(写真①)
耐震壁は筋交いを場所によりシングル・ダブルと合わせて施工。(写真②)は応接間の壁面補強筋交い)年度末の限られた期間のなかでしたが、河内長野市の協力もあり無事改修工事を終了することができました。それに続いて応接間のリフォームをおこないました。築50年余の建物ですから土壁を取

耐震改修と合わせて遮熱・断熱リフォームで健康な室内空気環境を



写真②

り除くと断熱は全くないので今回のリフォームで遮熱シートを利用しながら内装を仕上げました。(写真③、遮熱シートを施工して仕上げる途中)

今回の仕上げは、床に圧密の尾鷲杉フロアを、腰下部と天井にも宮



写真③

崎産免疫処理の杉材を多用しました。壁上部は100%自然素材の健康・省エネ建材、高千穂シラスの薩摩中霧島壁を使用しました。木とシラスの効果で湿度調節も快適におこなわれると思います。改修後のすっきり変わった部屋を見られ、N様も大変喜ばれていました。

今年の暑い夏を乗り切るにはあとは窓ガラス対策で完璧な健康空間になりそうです。



応接間リフォーム前 床はじゅうたんでした

木材が多いほど快適空間に

健康への追求

1986年静岡大学農学部で、「木」「金属」「コンクリート」の3種類の巣箱を使い、マウスの赤ちゃんの生存率を調べた動物実験が行われた。その後23日目の各生存率は、木製が85%、金属製が41%、コンクリート製は7%で、木製とコンクリート製では実に12倍もの差があった。

1986年静岡大学農学部で、東京大学名誉教授で50年以上にわたる木材物理学の研究をしてきた木材・合板博物館(東京都江東区)の岡野健館長(農学博士)は、「このマウスの研究で指摘されたのは巣箱の材質の熱伝導率の違いです。木は表面を触ると、すぐ体温に



応接間リフォーム後



近い温度になり、一定の温度になるとそれ以上熱を奪いません。一方、金属やコンクリートは熱伝導がいいので、どんどん熱を吸収します。マウスの体温が奪われて、生存率や成長に影響したと考えられています」と言っています。実際に、3種の材質の熱伝導の違いは、ほぼマウスの実験結果の順位と一致するといえます。居住空間に木材が多く使われた方がいい理由は他にもあります。岡野館長が東大時代にまとめた研究データの一つ、木材が持つ保湿効果による快適さです。どんな木も、湿度が低くなると湿気を放出し、湿度が高くなると湿気を吸収する性質があります。それは温度と湿度の関係で起こり、周囲の湿度が65%に保たれるように作用します。研究では、居間に木がほとんどない住宅と居間に木が多い住宅と比較した。調査中の外気湿度は0~75%と大きく変動している。そして、木のない居間の湿度変化は25~80%、木のある居間の湿度変化は40~65%

と、木のある方が格段と変動が少ない結果が出されました。

木とその他の材質と湿度調整能力の差は、薄い木で換算しても4倍違うといえます。岡野館長によると「居間や寝室などに木を多く使うと快適で、ダニやカビなどの増殖を抑え、乾燥でのどを痛めることも少なくなります。特に子供部屋はフローリングにすると、木のぬくもりや香りでストレスが少なく、学習に集中できるのでおすすめです。

し、木の表面に壁紙や塗料でコーティングしてしまうと効果がない。白木を使うことが前提です。」とも言います。

(出典 日刊ゲンダイ)

16・3・29より

新協建設は木材を多用して、遮熱・断熱効果を最大限発揮して快適、健康に住める家づくりに取り組んでいます。新築はもちろんですが、リフォームにおいても木材を活用しての健康な空間づくりを提案させていただきます。ぜひ相談ください。

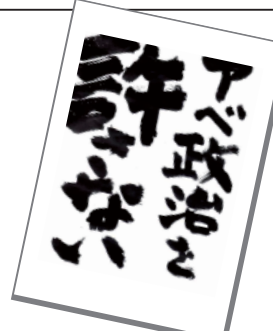


吉野杉を使ったマンションリフォーム例 (奥の棚は大工さん手作りのパソコン台)

危険な政治状況からの脱却を、アベ政治を許さない!! 金子兜太さんも街頭宣伝に、戦争廃止へ

この3月末でキャスター交代した「報道ステーション」の古館伊知郎氏が満身の力で訴えたドイツ・リポートが大きな話題を集めていました。◆テーマは安倍晋三首相が明文改憲で新設をめぐろむ「緊急事態条項」。「お試し改憲」といわれるこの条項が、独裁につながる劇薬であることをワイマール憲法と重ねて検証しました。◆「ヒトラーは軍やクーデターで独裁を確立したわけじゃありません」と切り出した古館氏。世界一民主的なワイマール憲法の下、独裁に道を開いたのが48条の「国家緊急権」だったといえます。◆その条文は「大統領は公共の安寧と秩序回復のため必要な措置をとることができる」というもの。首相に就任したヒトラーは、この条文を悪用し、言論・集会を制限し、あらゆる基本的人権を停止。共産主義者を逮捕し、野党の自由を奪い、「全権委任法」を成立させ

ました。古館氏は「緊急事態条項は、国家緊急権を思い起こさせる」というコメントをドイツ・イエナ大学の教授から引き出します◆思い出すのは今から3年前、麻生太郎副総裁の「ワイマール憲法はいつの間にかナチス憲法に変わっていた。あの手口に学んだらどうかね」という発言です。その手口が「緊急事態条項」の新設なのでしょう。(潮流より) 東日本大震災から5年が経過をしましたが、原発の事故処理もままならない



健康友の会の寄りあい場所のお手伝いを!

大阪支店のある堺市に民医連参加の耳原病院があります。昨年4月に新館14階建てオープンをしています。今年5月には高砂クリニックや協和薬局も含めてフルオープンとなります。この5月14日(土)、15日(日)には「フルオープンまつり」が盛大に行われます。新たに地域交流ゾーン

も完成して今後医療に關してのことだけでなく、地域の人たちの寄り合いの



新入職員のオリエンテーションを「どもの家」で

状況です。情報がまともには知らされようとしていない現在の日本、マスコミの責任は重要です。権力をきちんとチャック出来ないマスコミの姿勢が問われています。とにかく7月に行われる参議院選挙で戦争法案の撤廃を求め野党を多数にすることが求められていますね。



看板や掲示板も手作りで

耳原病院の友誼組織として「健康友の会」があります。病院の患者さんたちや病院に關わってこられた方々がボランティアとして地域のお年寄りとのつながりを大切にして健康相談や旅行会、認知症予防等々の交流を深めて一人ぼっちのお年寄りを無くして健康で過ごせるような活動をおこなっています。そのために地域ごとに支部を組織して活動をしています。が、今回支店長の藤田が浜寺支部の支部長の任に当たっている関係もあり、この度浜寺支部の寄り合

い場所「どもの家・風車」の改装をさせていただきました。木造2階建ての借家を家主さんのご厚意で改装が自由にでき、急だった階段の掛け替えをしたり、下駄箱の設置、広く使えるように一部解体もしました。



階段を緩やかにしました

3月27日のオープン前日まで内装をやり、27日は地域の方やほかの支部の方々、病院関係の方含め50名余が参加してお祝いをしていました。

今後地域の社交場として積極的に使われることを願っています。